

第43回測量調査技術発表会(Web開催) 技術発表 募集要領

2021.6.15

公益財団法人日本測量調査技術協会 技術委員会

測技協の測量調査技術発表会は、測技協会員企業の日頃の技術研究成果及び業務での技術的工夫等の実績を披露する場として毎年開催しています。2020年度(第42回)は、新型コロナウイルス感染拡大防止措置にもとづき、技術発表をWeb会議システムを利用した収録により行い、1週間の公開期間を設けたオンデマンド配信を以って開催いたしました。本年度の第43回測量調査技術発表会は、現時点の新型コロナウイルス感染状況を鑑み、**来場者を受け入れる開催は見送ることとし***、**第42回と同様にオンデマンド配信による開催**を予定しております。

つきましては、本年も会員の皆様からの技術発表を募集いたします。技術発表は**Web会議システムを利用した、会員会社、自宅等からの「リモート発表収録」**を前提とさせていただきますが、**新宿区立角筈区民ホールでの発表を経験したい方は、2021年8月27日(金)に「ホールでの発表収録」**も選択できるようにいたしました。下記をご確認の上、奮ってご応募ください。多数のご応募をお待ちしております。

*新型コロナウイルス感染拡大状況が著しく改善した場合は、人数を限定した来場者の受け入れを検討する予定です

記

●開催概要

第43回測量調査技術発表会(Web開催)

公開日程:2021年9月中旬の土曜日曜を含む7日間程度(予定)

※参加(視聴)申込に関する詳細は決定次第ご案内します

プログラム(予定):特別講演、測技協会員による技術発表、部会等活動報告

●募集期間

2021年6月15日~7月9日

●収録(発表)概要

以下のいずれかを選択できます。

発表(収録)場所	収録日	収録方法
1)リモート発表収録 会員会社、自宅、測技協会議室等	2021年8月19日 ~26日(予定)	Web会議システム
2)ホール発表収録 新宿区立角筈区民ホール(新宿区西新宿4-33-7) https://shinjuku.hall-info.jp/tsunohazu/about.html	2021年8月27日	動画録画及び音声録音

参考:Web会議システムによる発表動画のレイアウトイメージ

※ホール発表収録の動画も下記のイメージに準じてレイアウトいたします

Zoom:(PPTレイアウト:通常(4:3))(PPTレイアウト:ワイド(16:9))



●応募資格

当協会会員企業に所属している方

●発表テーマ分野

- 1) スマートシティ、DX、3D 等に関する技術及び利活用事例
- 2) 空中計測・マッピング部会関連技術及び利活用事例
- 3) 位置情報・応用計測部会関連技術及び利活用事例
- 4) GIS部会関連技術及び利活用事例
- 5) 国土管理・コンサル部会関連技術及び利活用事例
- 6) その他測量調査及び地理空間情報の関連技術及び利活用事例

●応募要領

技術発表応募シートに、リモート発表収録、ホール発表収録、のいずれかを記載の上、発表要旨を 200 字程度にまとめて測技協事務局までメールでお送り下さい。

・・・応募シートはこちら https://sokugikyo.or.jp/pdf/skgevent/43_appli.xlsx

★締切 2021.7.9

●選考

発表要旨、テーマ分野等について技術委員会にて選考の上、発表者を決定し、通知します。

●技術発表要領（詳細は発表者へ連絡いたします）

- ・「要旨集」の原稿作成(A4、1～2 ページ程度)・・・8 月上旬まで
- ・発表用スライド(プレゼンテーション(pptx))データ作成・・・8 月中旬まで **※発表時間:20 分**

1) リモート発表収録

会社、自宅等での発表を、Web 会議システム(Zoom または Webex)を利用して収録

・・・8 月 19 日～26 日の期間で調整(予定)

リモート発表は、ホール発表に近い条件とするため、原則として**ワンカット長回し**で収録します。

発表者は発表用スライドを Web 会議システムの画面共有機能で共有し、正面から顔が映るようにビデオをオンにして、発表用スライド操作しながら発表を行い、ホスト(事務局)側が録画機能を利用して収録します。

発表動画のレイアウトの統一化、事務局による編集作業の簡略化、外部への発表であることを考慮し、発表の収録は測技協事務局と Web 会議システムを接続した状態で行っていただきます。いずれの場合も、事前に接続テストを承ります。社内のセキュリティポリシー等により、両システムが使用できない場合には、測技協事務局に来協して発表を収録することも可能です。上記での対応が難しい場合には個別にご相談ください。

2) ホール発表収録

新宿区立角筈区民ホールでご自身の PC または当協会 PC を用いて発表・・・8 月 27 日(金)

通常のホール発表と同様に、舞台正面のスクリーンに発表用スライドを投影し、舞台上手(かみて)の演壇で発表用スライドを PC で操作しながら発表していただきます。

発表中の音声はスタッフがマイクからダイレクト録音、動画は正面からのバーストショットと舞台全体をビデオカメラで収録します。公開用の動画は、音声および収録動画と発表用スライドデータとの連携

編集を行う場合があります。

会場にはインターネット環境の用意がありません。必要な方はご自身でご用意ください。ただし、会場の電波状況により、不具合等が発生する場合があります。

会場には、発表者の他に、共著者複数名の来場も受け付けます。

ご来場の際には、感染防止対策にご協力ください。

●優秀発表賞の選考

発表パフォーマンスについて技術委員会が審査の上、優秀発表者を選考し、表彰いたします。

※審査のポイント: 以下の7つの視点による(予定)

(新規性、有用性、完成度、信頼性、発表内容の分かりやすさ、発表資料の体裁、発表態度)

※発表者が希望する場合は、審査結果(評価点)を後日、本人に開示いたします

●『先端測量技術』への掲載

発表内容を後日、執筆していただいた場合は、『先端測量技術』116号(2022年1月発行予定)に掲載いたします。執筆者には執筆証明書を発行いたします。

※執筆のお願い及び詳細は発表会終了後にご案内いたします

※執筆原稿の締め切りは2021年10月末を予定しています

【先端測量技術 投稿要領(抜粋)】

・入稿形式: Microsoft Word (A4 タテ/カラー)

・ページ数/文字数等: 出来上がりページ数・・・論文6ページ以内、技術報告・レポート4ページ以内

(出来上がり1ページあたりの文字数の目安1,400文字)

●優秀論文賞の選考

論文は2021年度優秀論文表彰の選考対象となり、審査選考により優秀論文と認められたものを次回の技術発表会で表彰いたします。

※審査のポイント: 以下の6つの視点による

(新規性、有用性、完成度、信頼性、論文の分かりやすさ、論文としての体裁)

●CPD

発表等をされた方には、各証明書を発行いたします。この証明書は、測量CPDの取得に使用できます。

【ポイント数】*筆頭著者は単著者を含みます

・要旨集の執筆・・・**活動実施証明書** 筆頭著者2P/共著者1P

・発表用スライドpptのデータ作成・・・**活動実施証明書** 筆頭著者2P/共著者1P

・技術発表・・・**発表証明書** 2P

・発表内容の先端測量技術への執筆

・・・**執筆証明書** 論文:筆頭著者5P/共著者2P、技術報告:筆頭著者3P/共著者1P

・・・**活動実施証明書** レポート:筆頭著者2P/共著者1P

・優秀発表および優秀論文の表彰・・・**受賞証明書**

優秀発表賞:2P、優秀論文会長賞:筆頭著者4P/共著者2P、優秀論文奨励賞:筆頭著者2P/共著者1P

※活動実施証明書は2020年度から新たに運用が開始された「学協会活動等による社会・業界への貢献等の測量CPD学習プログラム」の「報告文執筆活動」として証明するものです。

●お問い合わせ：測技協技術委員会 TEL:03-3362-6840

skg_iinkai【あつとまーく】sokugikyo.or.jp

(【あつとまーく】は@)